

高性能多核種除去設備タスクフォースの設置について

平成 25 年 11 月 29 日
汚染水処理対策委員会事務局

1. 設置趣旨

福島第一原発のような深刻な原子力事故における廃炉・汚染水対策は、世界にも前例のない困難な事業であり、技術的難易度が高いものについては国が前面に立って取り組むこととしている。

汚染水処理については、高性能多核種除去設備の整備実証を財政措置の対象としており、その早期実現等のため、水処理の専門家や原子力の専門家が参画する実務的なタスクフォースを汚染水処理対策委員会の下に設置し、進捗管理等を実施する。

2. 委員構成

(順不同、敬称略)

- ・ 田中 知 東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授
- ・ 山本 徳洋 (独)日本原子力研究開発機構 再処理技術開発センター 副センター長
- ・ 塚田 毅志 (一財)電力中央研究所 原子力技術研究所次世代領域リーダー
- ・ 田尾 博明 (独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門 部門長
- ・ 山本 正弘 (独)日本原子力研究開発機構 原子力基礎工学研究部門 副部門長
- ・ 長谷川 正巳 (財)塩事業センター 海水総合研究所 所長
- ・ 沼田 守 日揮(株)第3プロジェクト本部 副本部長

事務局

- ・ 新川 達也 資源エネルギー庁原子力発電所事故収束対応室長